

「気候変動の影響の適応への道筋」

地球温暖化への対策は、温室効果ガスの排出削減と吸収の対策を行う「緩和」と、気候変動の悪影響に対する「適応」の2つがありますが、それぞれ、現在どの程度の技術的実現可能性があつて、そのコストはどのくらい必要になるのでしょうか。東京大学生産技術研究所の取り組みと平成27年度よりスタートした環境研究総合推進費戦略研究プロジェクト S-14「気候変動の緩和策と適応策の統合的戦略研究」(代表：沖大幹東京大学教授)における取り組みを交えて、「気候変動の影響の適応への道筋」について、専門家による情報提供を行い、市民と共に考えるための一般公開シンポジウムを開催します。

なお、本シンポジウムは、東京大学生産技術研究所と同大学先端科学技術研究センターが主催する駒場リサーチキャンパス公開の一環として開催されるものです。

日 時：2018年6月9日(土) 10:00~12:00
場 所：東京大学生産技術研究所 An 棟コンベンションホール
参 加 費：無料

プログラム：

司会：東京大学国際高等研究所/生産技術研究所 教授 沖 大幹

● 挨拶

東京大学生産技術研究所 所長 岸 利治

● 講演

● 「気候変動に適応するために、地球全体でいくら必要か？」

芝浦工業大学 教授 平林 由希子

● 「低コスト化した太陽光発電の大量導入に必要な新エネルギーシステム」

東京大学先端科学技術研究センター 教授 杉山 正和

● 「カーボンプライシング – 緩和策の経済評価と適応策との統合評価 – 」

東京都市大学環境学部 教授 伊坪 徳宏

● 「エアコンは、温暖化対策となりうるのか？（インドネシア・ジャカルタにおけるケーススタディー）」

東京大学大学院新領域創成科学研究科 准教授 井原 智彦

● 閉会

主催：環境省環境研究総合推進費 戦略研究プロジェクト S-14

共催：東京大学生産技術研究所

問い合わせ先：

東京大学生産技術研究所 沖大幹研究室

TEL：03-5452-6382

FAX：03-5452-6383

E-mail：s14-symposium@hydro.iis.u-tokyo.ac.jp

Web site：http://s-14.iis.u-tokyo.ac.jp/